

令和5年度大阪エコ農産物の残留農薬分析結果について（11月実施分）

大阪府環境農林水産部農政室推進課

1 目的

大阪エコ農産物の安全・安心の確保に向け、農薬の使用状況と残留農薬を調査し、生産者に対して農薬の適正使用の指導を行う。

2 分析期間 令和5年11月6日～11月8日

3 分析農薬の種類 50農薬

4 検査機関 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

5 分析結果

4種類の作物について、計12検体調査を行いました。

食品衛生法に基づく残留基準値を超える検体はありませんでした。

表 分析結果

作物の種類	エコ栽培基準 (農薬上限使用延 成分回数)	分析 検体 数	農薬が検 出された 検体数	検出された農薬の 成分名		残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)
水稲	7	8	2	検体1	ジノテフラン	0.22	2
				検体2	ジノテフラン	0.08	
					フェリムゾン	0.19	2
温州みかん	10	2	1	テブコナゾール		0.01	3
非結球レタス	1	1	0	—		—	—
だいこん	4	1	0	—		—	—

農薬取締法、食品衛生法、エコ農産物の栽培基準のいずれにおいても問題ありません。

各作物で検出された農薬成分は適正に使用されたものです。検出された農薬成分は残留基準値を下回っており、農薬取締法、食品衛生法、エコ農産物の栽培基準のいずれにおいても問題ありません。